

平成28年度

# 自己評価報告書

平成29年12月1日

鹿児島医療工学専門学校

## 1. 教育理念、目的

教育理念	鹿児島医療工学専門学校では将来医療従事者となる人材を育成する ので「愛される人」「信頼される人」「尊敬される人」すなわち「愛・信・敬」 に基づく教育を実践している。 (1)常に本校の学生として正しい礼儀・言動を努める (2)来訪者、教職員に常に挨拶をするように心がける
目的	鹿児島医療工学専門学校は学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、医療を中心にした人材の育成、並びに広く社会に貢献する人材を育成することを目標とする。

## 2. 平成28年度の目標と計画

目標	(重点目標) ・開校当初につき、学校基盤を確立する。  ・初年度入学生の基礎学力向上並びに医学・工学の初歩的な分野の学力育成  ・社会人の前段階として、また大人としての礼儀、マナー及び人間力の育成  ・臨床工学技士を広く周知してもらい人材不足を解決するべく、希望人数を増加させるとともに、募集定員の充足
計画	(目標達成のための具体的事業計画、行動計画) ・各種法令等に基づき事務処理並びに関係処理を正確に行う ・各分野の教育の精通者からの直接的な教育並びに意見交換により教員各々の指導力向上、学生個人個人の履修の違いを把握し適切な難易度での授業計画 ・ホームページ等の更新、高等学校や会場ガイダンス等を通して職種についての説明、並びにオープンキャンパスなど誰にでも情報を提供できる機会を設ける  ・あいさつの徹底、使用教室等の掃除また言葉遣いや人間関係などの内容についても、講義、課外活動を通して身に付ける

# 目 次

- ①教育理念・目的・人材育成像
- ②学校運営
- ③教育活動
- ④学修成果
- ⑤学習支援
- ⑥教育環境
- ⑦学生募集と受入れ募集
- ⑧財務
- ⑨法令等の遵守
- ⑩社会貢献・地域貢献
- ⑪総括

## \*本評価書における評定について

評価については、以下のような設定で自己評価をする。

- 5：最良 非常に適切な対応をしている。
- 4：適切 適切な対応をしている。
- 3：ほぼ適切 適切に対応しているが課題もあり、改善の取り組みが期待される。
- 2：やや不適切 やや対応が不十分であり、課題の抽出と改善に取り組んでいく必要がある。
- 1：不適切 対応が全くできていない。
- NA： 該当なしまたは未実施

### ①教育理念・目的・人材育成像

評価	
評価結果 (総括)	教育理念に基づいた教育を行うことが出来た。地域の関連業界や病院とも連携が取れており、社会の状況、病院等の現状やニーズ等も把握することができ、それらの情報を教育並びに募集の際の説明等にも活かすことができた。
取組状況と その分析	開校初年度ということもあり、教育理念に基づく教育が完全ではない部分もあった。 教職員は毎朝清掃等を行い、すれ違うたびに挨拶を行うなど学生の手本となることが理念を養う効果的な教育であった。
今後の 改善方 策等	次年度以降は学校の教育理念や社会のニーズ等を具体的に把握した状態であるため、より効果的な教育を志すとともに、教員一人一人にこれらを十分に熟知させ理念に基づく人材育成を行うことに努める。

1-1	教育理念・目的・育成人材像(以下「教育理念等」)は、定められていますか	
1-1-a	● 教育理念等はそれぞれ定められていますか	4

1-1-b	● 教職員に対して、教育理念等を明示し、周知徹底を図っていますか	4
1-1-c	● 学生・保護者に対して教育理念等を明示し、周知していますか	4
1-1-d	● 教育理念等を学校外に広く公表していますか	4
実施状況	「愛・信・敬」を教育理念と定め、教職員及び学生に文書として明示している。 またホームページ等で教育理念等を広く公表している。	
確認資料	学生便覧	
1-2	<b>社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか</b>	
1-2-a	● 中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構造を描いていますか	4
1-2-b	● 地域社会や企業・関連業界等に対し意見を求めるなど、ニーズを掴んでいますか	4
実施状況	中期的な視点で社会全体の状況を把握し、今病院等で求められている人材像を関係者からヒアリングを行い、今後の地域社会や病院等で必要とされる人材像を育成し地域に根付いた学校の構想を描いている。	

## ②学校運営

評価		
評価結果 (総括)	マナー並びに礼儀作法等についての教育は徹底できていた。学生も挨拶など自ら行い教育の成果が見て取れる。 国家試験受験は今年度は無いので評価できないが、募集に関しては臨床工学技士について鹿児島県の多くの方に周知してもらうことで、興味を持ってもらい募集にも繋げることができた。	
取組状況と その分析	教育について、先立つ国家試験に向けて、また学生募集に関する会議を徹底して行い遂行することで、学校の運営が成立していた。	
今後の改善 方策等	教育についても、募集に関しても、学生や教職員の声をさらに取り入れ、今後更なる発展が期待できるようより良い運営方法へ導く必要がある。	

2-1	<b>運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか</b>	
2-1-a	● 運営方針は定められていますか	4
2-1-b	● 運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	4
2-1-c	● 運営方針を教職員に周知していますか、また必要に応じてその浸透度を確認していますか	4
実施状況	医療従事者となる人材を育成するべく、礼儀・マナーを重んじると共に最終到達目標である国家試験合格率100%達成を運営方針とし、病院で即戦力になるような人材育成をすることを教職員全体で周知している。また職種を世に周知し興味を持ってもらうことで、募集定員充足も目指している。	
2-2	<b>事業計画を作成し、執行していますか</b>	
2-2-a	● 事業計画を作成していますか	4
2-2-b	● 事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制がありますか	4
実施状況	合格率100%、募集定員充足のため教務・広報・事務が連携した年間事業計画を作成している。 また定例会議等を行い執行状況の確認を定期的に行っている。	
2-3	<b>組織運営は適切に行われていますか</b>	
2-3-a	● 寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規定等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されていますか	4
2-3-b	● 意思決定に至る手順・ルートは規定等で明確になっていますか、またそれが有効に機能していますか	4

実施状況	就業規則に運営、その他の規則等が詳細に明記されており、規則に則り運営規定の整備、運営会議の開催、意思決定等を行っている。	
確認資料	就業規則	
2-4	<b>業務の効率化を図っていますか</b>	
2-4-a	● 情報システム化に取り組むなどの業務の効率化に努めていますか	3
実施状況	学生または資料請求者等のデータ等をパソコン上で管理し、証明書やDM等または各種書類等の発行業務等を迅速に行えるよう効率化を図っている。またホームページ等で情報発信にも努めている。	

### ③教育活動

評価		
評価結果(総括)	初年度入学生であったが十分な教育を行うことができていた。その背景としては、姉妹校から臨床工学技士養成のノウハウを取り入れ、また新しい教員とも連携、会議等で互いの教育力が高まったためと考察する。カリキュラムに沿う形で教育を進めながらも、理解に苦しむ学生などには個別で対策を行い学力の格差をなるべくなくし学年全体で国家資格に向けて取り組むいい教育ができていた。	
取組状況とその分析	外部の関係機関や病院等が開催する学会や勉強会などキャリア教育を行ったり、全体的に苦手な部分の課題や補習を行うなど様々な視点から効果的な教育を行った。	
今後の改善方策等	分野的に地域に根ざした教育が難しいものであるが、鹿児島県の現状であったり、県内の病院の風習や患者の傾向など、将来地元で就職を希望する学生も多いことから、そのような観点からの講義も今後取り入れたい。	

### ◎目標の設定等

3-1	<b>教育理念、人材育成像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか</b>	
3-1-a	● 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしていますか	4
実施状況	関係法令で定められているかつ少しでも早い段階での社会進出、さらにはカリキュラム的に能力を身に付けることができるという観点から3年と定め、各学年での教育到達目標を設定している。	

### ◎教育課程・教育方法・評価等

3-2	<b>教育課程(カリキュラム)は、明文化されていますか</b>	
3-2-a	● 教育課程(カリキュラム)は、明文化されていますか	4
3-2-b	● 教育課程(カリキュラム)は、事前に学生に開示されていますか	4
3-2-c	● 情報システム化に取り組むなどの業務の効率化に努めていますか	3
実施状況	カリキュラムは学生配布の資料に明文化されており、入学後オリエンテーションを通して学生に具体的な説明を行っている。	
確認資料	学生便覧	
3-3	<b>キャリア教育・職業教育(以下「キャリア教育等」)を実施していますか</b>	
3-3-a	● キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(答申)(平成23年1月31日)の内容を参照していますか	4
3-3-b	● キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫していますか	4

実施状況	実際の医療機器を操作したり、学会で動物の解剖を行ったり、また工学分野でも実際の電気回路を組み立てたりなど、楽しくかつ興味深い内容で工夫しながら教育を行っている。	
3-4	<b>授業改善のための取組みが行われていますか</b>	
3-4-a	● 学生に対しアンケートを実施するなど授業評価を行っていますか、また卒業時に在学中の満足度について調査していますか	3
3-4-b	● 評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てていますか	3
実施状況	学生からの声をもとに授業改善を目指しているが、現状アンケート等で学生全員の意思を確認してはいない。学生から上がった声は会議の際に議題項目と定め、改善を図っている。	

<b>◎成績評価・単位認定等</b>		
3-5	<b>成績評価・単位認定、進級・卒業判定(以下「成績評価等」)の基準は明確になっていますか</b>	
3-5-a	● 成績評価等の基準は、学則、細則等に定められていますか	4
3-5-b	● 成績評価等の基準を学生・保護者に明示していますか	4
実施状況	成績評価・単位認定の基準については学則等に定められており、それらの関係資料は入学時に学生に配布している。	
確認資料	学則 就業規則	
3-6	<b>成績評価等を適正に行っていますか</b>	
3-6-a	● 判定会議を開くなど客観性、統一性が取れる体制を作っていますか	4
実施状況	成績の評価については、試験またはレポートの点数に基づき平等かつ統一性の取れる評価方法を採用している。	
確認資料	成績報告書	

<b>◎資格免許の指導体制</b>		
3-7	<b>資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか</b>	
3-7-a	● 資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	4
3-7-b	● カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配布していますか	3
実施状況	関係法令に基づいた上で国家資格取得のために最も有効的なカリキュラムを構成している このカリキュラムは文書化したものを入学時に学生に配布している。	
確認資料	学生便覧	
3-8	<b>資格・免許取得のための指導体制がありますか</b>	
3-8-a	● 資格・免許取得のための指導体制がありますか	4
実施状況	授業の一環、または長期休暇で資格試験対策という形で指導を行い、万全な体制で試験等に臨めるよう対策を取っている。	

<b>◎教員・教員組織</b>		
3-9	<b>資格・要件を備えた教員を確保していますか</b>	
3-9-a	● 教員数は関係法令等を満たしていますか	4
3-9-b	● 現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っていますか または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っていますか	4
実施状況	平成28年度現状では関係法令を満たした教職員数は充足している。翌年度以降、学年が増えることにより教員数が不足してしまうので採用活動も並行して行っている。	
3-10	<b>教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか</b>	
3-10-a	● 鹿児島県専各連合会主催研修会等への参加を奨励・支援していますか	3
3-10-b	● 校内研修(OJT)を行っていますか	4
3-10-c	● 企業や各種の団体等が主催する研修会等への参加を奨励・支援していますか	4
実施状況	教員同士、お互いの授業のやり方を提示し、話し合い精査した上でより質のいい教育内容になるよう定期的に会議を行い改善を図っている。また学会や勉強会等についての参加も積極的に行っている。	

◎地域に根ざした教育		
3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	
3-11-a	● 鹿児島県内の人材を活用して、授業を行っていますか	4
3-11-b	● カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配布していますか	4
3-11-c	● 鹿児島県内の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか	4
3-11-d	● 県内のほかの専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか	3
実施状況	教職員・学生共にほとんどが、県内出身者である。また医療機関との連携で病院実習や臨床工学技士会と連携して勉強会、大学等と連動した授業など、幅広く地域の関係機関と連携がとれている。	
3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	
3-12-a	● 学生が鹿児島県や各市・町の自然、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか	2
3-12-b	● 交通安全教育を行っていますか	2
3-12-c	● 公共のマナーについて、教育・指導していますか	4
実施状況	課外教育の場が少なく、鹿児島県や鹿児島市の自然や文化等に触れる教育は現状あまりできていない。公共マナーについては教育を徹底しており、挨拶や連絡などの教育・指導を行っている。	

#### ④学修成果

評価	
評価結果 (総括)	国家試験合格を成し遂げるため、姉妹校で培ったノウハウを最大限に生かし、学生が疑問に思った内容などについては随時個別対応できるような体制を実現した。また苦手な分野がある学生に対しては放課後等を利用し苦手克服のための指導も行った。
取組状況と その分析	いつでも質問できる環境を整えることで、学生が気兼ねなく質問に来ることができた。 個別での指導により学生の苦手分野克服ができ、学力格差を淘汰することができた。
今後の改善 方策等	基本的に受け身の体制で質問に対応している部分もあり、質問が苦手な学生などに対しての配慮に欠けていた部分もあった。今後国家試験等もあるので、全員が積極的に質問を行える環境を配備したい。

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	
4-1-a	● 国家試験合格率の目標設定をしていますか	4
4-1-b	● 取得率向上のための対策等を講じていますか	4
実施状況	本校では国家試験合格率100%という高い目標設定を行っている。目標達成のための対策として、類似検定の取得を卒業要件と定め、また、国家試験対策を授業の一環に盛り込んでいる。	
確認資料	学生便覧	
4-2	就職率の向上が図られていますか	
4-2-a	● 学生に就職に対する目標を立てさせていますか	4
4-2-b	● 学生の就職活動状況を把握し、指導・助言していますか	4
実施状況	個別面談等で、学生の働きたい病院の規模、内容、場所などを聞き取り、具体的な病院などを例にとり目標を立てさせている。またその実現に向け、学習方法や実習病院等の選定を行っている。	

⑤学習支援

評価	
評価結果 (総括)	友人間、男女間など人間関係で悩む時期でもあり、また学費等で家計を圧迫することで様々な問題に直面する学生もしばしば存在した。担任制を取っているため、学生が生活面などで相談する姿も見受けられた。
取組状況と その分析	事務による奨学金等の手続支援、担任による2者面談、退学者から退学理由のヒアリング、授業や学生生活等の問題を精査などあらゆる取り組みを行った。
今後の 改善方 策等	学生生活において人間関係や学力で悩んでいる学生に気付いていない部分も存在している。 アンケートや、面談、ヒアリングなどを定期的に行い学生が健全に学業に励むことが出来るよう、今後更なる工夫が必要である。

◎中途退学		
5-1	退学率の低減が図られていますか	
5-1-a	● 中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握していますか	4
5-1-b	● 中途退学防止のための対策を講じていますか	4
実施状況	退学者より退学理由及び原因等のヒアリングを行い教育方針並びに授業内容の改善を図っている。 また欠席の多い学生への連絡、学習面及び精神面での悩みが無いかについての面談を定期的に行っている。	
確認資料	退学願（理由項目）	
◎就職等進路		
5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	
5-2-a	● 就職等に関する支援部署・相談部署(就職担当部門)はありますか	4
5-2-b	● 就職担当部門と担任教員との連携は図られていますか	4
5-2-c	● より高度な学習・研究ができるよう大学等との併習または接続が可能な体制等を取っていますか	4
実施状況	事務職員で就職に関する担当を配置し、担任にも就職先についての情報を提供し、積極的に連携を取っている。	
5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	
5-3-a	● 企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開していますか	NA
5-3-b	● 就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励していますか	NA
5-3-c	● 履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けていますか、または指導していますか	NA
実施状況	新設校のため実績なし。	
◎学生相談		
5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	
5-4-a	● 入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別相談・ヒアリングを行っていますか	4
5-4-b	● 学生から相談があったとき、迅速に、かつ、的確に対応する体制がありますか	4
実施状況	入学後4月から5月にかけて担任と学生による2者面談を実施している。また学生からの質問や相談をいつでも聞くことができるよう授業以外は教務室に待機し、随時的確な対応ができるようにしている。	

5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	
5-5-a	● いじめや孤立を早期に発見する体制がありますか	4
5-5-b	● いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがありますか	3
実施状況	学生が相談しやすい環境、また担任制を設けていることによりいじめ等を早期発見できる体制は整備されている。個別相談や周囲の学生からのヒアリング等で状況把握、アドバイス等を行っている。	
◎学生生活		
5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	
5-6-a	● 公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供していますか	4
5-6-b	● 学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等がありますか	4
実施状況	日本学生支援機構による奨学金、日本政策金融公庫による国の教育ローン、またその他金融機関の教育ローン等についても入学前、入学後それぞれ紹介を行っている。また学費の減免制度としては、入学選抜選考における専願系の入試合格者に対して授業料減額を設けている。	
5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	
5-7-a	● 学生に対し、定期健康診断を実施していますか	4
5-7-b	● 有所見者の再検診について適切に対応していますか	4
実施状況	年に1度学生に対し定期健康診断を実施している。有所見者についても適切な指導のもと、再検診を行うよう積極的に促している。	
確認資料	健康診断費用請求書等	
5-8	生活環境支援体制を整備していますか	
5-8-a	● 遠隔地からの学生のための寮を整備していますか、またはアパート・マンションの紹介等をしていますか	4
実施状況	現状、寮は整備していない。民間不動産会社と提携を行いアパート・マンションの紹介、また学生の負担を少しでも減らすべく、仲介手数料半額等の措置を講じている。	
確認資料	物件紹介依頼（川商ハウス）	
◎保護者		
5-9	保護者・保証人(以下「保護者等」)との連携を図っていますか	
5-9-a	● 保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていきますか	3
5-9-b	● 成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談していますか	4
5-9-c	● 緊急時の保護者等との連絡体制を確保していますか	4
実施状況	保護者に対する直接的な教育活動の詳細についてはあまり提示はできていない。保護者からの質問や見学については積極的に受け入れている。学生の成績・素行不良の場合は必ず保護者に連絡を行い、状況確認三者面談等を行っている。万が一に備え緊急時連絡先についても把握をしている。	
◎卒業生・社会人		
5-10	卒業生の動向を把握していますか	
5-10-a	● 年度毎に調査・集計し、動向等を把握していますか	NA
5-10-b	● 卒業年度だけではなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握していますか	NA
実施状況	新設校のため実績なし。	
5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	
5-11-a	● 資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか	NA
5-11-b	● 再就職、キャリアアップについて、卒業後の相談に乗っていますか	NA
実施状況	新設校のため実績なし。	

5-12	<b>社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか</b>	
5-12-a	● 大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか	4
実施状況	基本的に本校では単位変換は行わず、すべての授業を履修して頂く方針である。それら履修に関する取扱いは学則等に明記しており、学生にも提示の上説明を行っている。	
確認資料	学生便覧	

## ⑥教育環境

評価		
評価結果(総括)	平成28年度に開校し、施設・設備基準は関連法によって規定されており、全て基準を満たしている。また教育施設は最新の設備が揃っており、学生が適切な環境で教育が受けることができるよう整備されている。防災に関しては消防計画に基づき防災避難訓練を実施、また危機管理マニュアルを作成し、全教職員、学生に周知することで安全確保へ向けた防災意識の向上を図っている。	
取組状況とその分析	施設・設備の定期点検定期点検、補修、修繕、メンテナンスについては専任の担当者にて管理、実行している。防災対策として消防計画等に基づき、防火管理者を中心に防火避難訓練の実施、非常時用の備蓄、危機管理マニュアルの整備等を行っている。	
今後の改善方策等	図書館、自習室の利用状況を把握しより可能な範囲で希望に沿った利用ができるよう検討していく。校外実習については平成30年度からとなるため、指定規則に定められた時間数で実施予定である。	

6-1	<b>教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか</b>	
6-1-a	● 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか	4
6-1-b	● 施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っていますか	4
実施状況	指導ガイドラインに規定されている施設設備はすべて設置、配置されている。定期的に施設・設備の点検、補修・修繕を行っている。	
確認資料	施設・備品一覧、学生便覧、図書蔵書リスト	
6-2	<b>校外の実習、海外研修等(以下「校外実習等」)について、十分な教育体制を整備していますか</b>	
6-2-a	● 校外実習等は、教育課程の中に組み込まれていますか	5
6-2-b	● 校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知していますか	4
6-2-c	● 校外実習等についての成績評価基準を明確に決めていますか	4
実施状況	校外実習についてはオリエンテーションにて学生に周知している。臨床実習施設と適切に連携し、十分な教育体制を整備している。	
確認資料	学生便覧、実習マニュアル	

6-3	<b>防災・安全管理に関する体制を整備していますか</b>	
6-3-a	● 防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出ていますか、また必要に応じそれらの計画を変更していますか	4
6-3-b	● 施設・設備の耐震化を図っていますか	4
実施状況	消防計画を鹿児島市中央消防署に届出をしている。	
確認資料	消防計画、危機管理マニュアル	
6-4	<b>防災訓練等を実施していますか</b>	
6-4-a	● 学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っていますか	4
実施状況	防災避難訓練を実施している。	
確認資料	防災計画	

### ⑦学生募集と受入れ

評価	
評価結果 (総括)	学生募集は法令や高校進路指導協議会方針等を遵守し、適正に実施している。 オープンキャンパス、学校説明会、高等学校訪問については教務・事務課と連携を図り、広域的かつ積極的な活動を組織的に展開している。
取組状況と その分析	鹿児島県の本土及び離島の高校に定期的に訪問し、高校教員への広報活動や学校説明会に参加している。 オープンキャンパスでは在校生との座談会を通じ、学校の雰囲気や学習内容、学校生活を理解してもらえるよう取り組んだ。 またホームページを通じて最新の情報を提供できるよう努めている。
今後の 改善方 策等	鹿児島県外の高校への訪問や学校説明会への参加も検討していく。

7-1	<b>学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか</b>	
7-1-a	● 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っていますか	4
7-1-b	● 学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介していますか	4
7-1-c	● 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしていますか	4
7-1-d	● 入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置していますか	4
実施状況	オープンキャンパスを定期的で開催している。また、主に代理店の主催している学校説明会に積極的に参加している。	
確認資料	学校案内、学校ホームページ、募集要項、高校訪問報告書	
7-2	<b>授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか</b>	
7-2-a	● 入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額についても明示していますか	3
7-2-b	● 入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18文科高第536号)に基づいて適切に対応していますか	4

実施状況	募集要項、ホームページ等を通じて入学金、授業料等を明示している。	
	文部科学省通知(18文科高第536号)に基づき、適切に授業料返還を行っている。	
確認資料	学校ホームページ、募集要項	
7-3	<b>社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか</b>	
7-3-a	● 社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れていますか	4
7-3-b	● 給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っていますか	4
実施状況	現役、既卒者を問わず、ハガキ等による情報提供等を行っている。	
	専願での入試については授業料の減額の制度を設けている。	
確認資料		

## ⑧財務

評価		
評価結果 (総括)	本法人の財政基盤は現時点、安定している。	
	学校法人会計により適正な会計処理が行われている。	
取組状況と その分析	法人、理事会、評議員会と複数によるチェック体制の下、予算編成を行い、会計監査は税理士によるチェック 監事による監査を行い、決算書は適正である。	
今後の 改善方 策等	少子化に伴い、専修学校への進学者数の減少が進む今後も、ハード面、ソフト面ともに教育の質を落とす事 なく、経費削減・節約に努めていく。	

8-1	<b>学校及び設置者(法人)の収支、財政基盤は安定していますか</b>	
8-1-a	● 出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握していますか	5
8-1-b	● 収支と支出のバランスが取れていますか	5
8-1-c	● 設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしませんか	5
実施状況	毎月行われる財務会議において、状況報告・相談・連絡・検討が行われている。	
確認資料	財務書類、決算書	
8-2	<b>予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか</b>	
8-2-a	● 予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっていますか	4
8-2-b	● 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っていますか	4
実施状況	毎月行われる財務会議において、状況報告・相談・連絡・検討が行われている。 また、財務部から各部署への報告等を密に行っている。	
確認資料	予算書、財務書類	
8-3	<b>会計監査、財務情報公開が行われていますか</b>	
8-3-a	● 会計監査体制のルールが明確化されていますか	4
8-3-b	● 会計監査の結果報告が文書化されていますか	4
8-3-c	● 財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいますか	2

実施状況	公開希望者には公開する準備は行っているが、積極的に取り組んでいるとは言えない。

⑨法令等の遵守

評価	
評価結果 (総括)	専修学校設置基準及び養成施設指定規則の関係法令に基づき、就業規則、学則、ハラスメントの防止に関する規定等を整備し、適切な運営がなされている。
取組状況と その分析	就業規則、学則、ハラスメントの防止等に関する規則等について教職員へ周知徹底すると共に、学生に対してはオリエンテーション等を通じて規則の遵守を指導している。 情報漏洩防止策としてリムーバブルメディアの取り扱い、インターネット使用環境の制限を行っている。 自己評価結果をホームページに掲載している。
今後の 改善方 策等	個人情報の取り扱いについては教職員、学生を含めた学校全体の認識として取り組んでいく。 教職員の情報公開が十分でないので今後検討していく。

9-1	専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令の遵守と、適切な運営がなされていますか	
9-1-a	● 監督官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っていますか	4
9-1-b	● 学校運営に必要な諸規定を整備し、それを適正に運用していますか	4
9-1-c	● セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行していますか	4
実施状況	専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令を遵守し、適正な運営をしている。	
確認資料	就業規則、学則	
9-2	個人情報に関する規定を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか	
9-2-a	● 個人情報の取扱いについて、規定・方針を策定していますか	4
9-2-b	● 個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	4
9-2-c	● リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じていますか	4
実施状況	個人情報の取り扱いについてはその重要性を教職員が十分に認識し、情報漏洩が発生しないよう情報保護を行っている。	
確認資料	就業規則	
9-3	自己評価を実施し、その結果を公表していますか	
9-3-a	● 自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されていますか	4
9-3-b	● 実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいますか	4
9-3-c	● 自己評価結果を報告書にまとめていますか	4
9-3-d	● 自己評価結果をホームページ等に掲載するなど公表していますか	4
実施状況	自己評価結果を平成29年度よりホームページにて公開した。	
確認資料	学校ホームページ	
9-4	専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令の遵守と、適切な運営がなされていますか	
9-4-a	● 学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開していますか	4

実施状況	学校内容、教育内容については学校案内・ホームページに公開している。教職員の情報については公表は十分でない。
確認資料	学校案内、募集要項、学校ホームページ

### ⑩社会貢献・地域貢献

評価	
評価結果 (総括)	学校の施設を関係機関に提供できている。 学校の地域社会への貢献度が低い。
取組状況と その分析	鹿児島県臨床工学技士会主催の勉強会・学会の会場として学校を利用してもらった。またその際には学生をボランティアスタッフとして参加させた。 献血への協力については教職員と学生が一体となり取り組んだ。 学生の地域社会との交流については周知はしているがほとんど参加できていない状況である。
今後の 改善方 策等	ボランティア活動や地域行事については学生に周知するだけでなく、積極的な参加を促し今後学校としてできる範囲で社会や地域への貢献を図っていく。

10-1	<b>学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか</b>	
10-1-a	● 地域や関連業界が開催する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)等を積極的に受託していますか	4
10-1-b	● 地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会を開催する際、学校施設・設備等を開放していますか	4
実施状況	研修会・研究会の会場として学校施設を関連業界、企業に利用してもらっている。	
確認資料	決裁伺書、報告書	
10-2	<b>学生のボランティア活動を奨励・支援していますか</b>	
10-2-a	● 学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	4
10-2-b	● 教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしていますか	4
実施状況	業界団体の献血活動に学生を参加させている。 教職員は毎朝学校周辺の清掃活動を行っている。	
確認資料	決裁伺書、報告書	
10-3	<b>学生の地域との交流を奨励・支援していますか</b>	
10-3-a	● 学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励していますか	4
10-3-b	● 地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等(分野により研究・開発)を行っていますか	4
確認資料		
10-4	<b>高校生等の職業意識涵養に努めていますか</b>	
10-4-a	● 高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか	4
確認資料		

⑪総括

評価	
評価結果 (総括)	学校自己評価への対策がまだ不十分である。
取組状況と その分析	担当の教職員が協力し、学校評価を行った。
	学校評価の目的についてはすべての職員が理解しているとは言えない状況である。
今後の 改善方 策等	今後、自己評価を実施する中で課題を明確にしその改善に努め、教育の質の向上、学校運営、教育活動の改善に努め、情報公開を行っていく。
	また受動的になることのないよう積極的な姿勢をとっていく。

11-1	学校評価の実施について評価してください	
11-1-a	● 学校評価の目的(何のために学校評価をするか)が、全ての教職員に浸透していましたか	3
11-1-b	● 学校評価を積極的に実施できましたか(受動的になったり、義務感でやっていませんでしたか)	3
11-1-c	● 評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めましたか	3
11-1-d	● 学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えましたか	3
11-1-e	● 評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できましたか	3
確認資料		

#### 4. 自己評価結果(総括)

評価	4
----	---

目標達成状況	<p>重点課題としていた学校基盤の確立、初年度入学生の学力、人間力育成、入学希望人数の増加及び募集定員の充足は達成できた。</p> <p>目標達成のための事業計画(正確な事務処理及び関連処理、教員の指導力向上、適切な授業計画、学生のルール・マナーの徹底、積極的な広報活動)についても計画通りに実行することができた。</p>
今後の課題・改善方策	<p>国家資格取得という明確な目標に向け、合格率100%を達成するために組織的、計画的な学生指導に取り組んでいく。</p> <p>就職支援については就職率や求人数に関する情報を的確に把握すると共に、全員就職を目指し就職先の開拓、学生に対する求人情報の周知、面接指導など対策を行っていく。</p> <p>地域の学校として広く教育機関や関係団体と連携を図りより積極的に地域に貢献していく。</p>